

令和5年度 授業改善推進プラン教科別計画 【社会科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」・「どのように」・「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	藤原	①基礎的な知識の定着。 ②資料を正しく読み取る力。 ③自分の考えを根拠を明確にして説明する力。	①毎授業、目標をどの程度達成できているのか自分の理解度を把握できる振り返りの課題設定を行う。 ②資料を読み取る際のポイントを示し、資料の読み取りを繰り返し行う。まずは資料の読み取りに慣れる。 ③振り返りではペアワークで自分の考えを述べたり、ノートに課題に対しての考えを述べたりすることで説明する力を身に付ける。	①単元テストを行い知識の定着を図る。 ②資料を読み取る際のポイントを示し、資料の読み取りを繰り返し行う。 ③調べ学習を通して課題を把握し自分の考えを発表する。
2年	大野	①2年になり授業に集中できない生徒が目立つようになった。それに合わせ基礎・基本的な知識の定着が不足している生徒が多くいる。全体としては、完全な二極化が進んでいる。 ②今までは入試対策を前面に出してきたがアンケートの分析から「地理」・「歴史」への関心を高められる内容を取り入れる必要がある。教科への興味・関心を高め達成感や自己肯定感が高まる授業を意識していきたい。	①学習している内容が自分の生活とどのようにかかわっているのかを感じられる授業を心がける。学習内容への興味・関心を高める。 ②授業内で必ず1度は発表の機会を持たせる。教科書の音読やノートの発表などの機会をとらえ生徒ひとり一人をきめ細かく評価す ③自分なりに教科書をノートにまとめ、まとめたことを小グループで発表しあう授業を行う。	①学習内容への高い興味・関心や基礎・基本的な学習内容の定着などが定期テストや入試などへの取り組んでいく姿勢へのベースになるようにしていく。 ②学習内容の定着などの対策として問題をたくさん解いていく取り組みを主体的に行えるような姿勢を育てていく。 ③主体的に思考・判断に関する課題を出来るだけ多く設定し、考察する機会を増やす。
3年	渡邊	①基礎・基本的な知識の定着が不足している生徒が多い。 ②学習した内容を自分の言葉で表現したり、言葉や文章で考えをまとめたりする技能に課題がある。 ③提出物などの実施状況に個人差が大きく、未提出のままで済ませようとする生徒が少なくない。	①授業形態や教材を工夫し、基礎的な用語を把握できるように内容を精選する。 ②毎回の授業で、学習課題について自身の考えを図や文章でまとめる時間を設ける。 ③グループワークや発表を行うことによって自分の言葉で表現する機会を増やす。 ④提出物について、担任との連携を強めつつ個別指導を増やしていく。	①日々の生徒の様子や、定期テストの結果から、生徒のつまずきを把握する。 ②教材研究により力を入れ、生徒が興味関心を高められるような授業を展開する。 ③獲得した知識・技能を活用し、自身の考えを表現する場面を授業内で多く設定する。